

道路交通の現状と課題 ①渋滞 長沼交差点等の交通状況

- 評価対象区間にある長沼交差点は、静岡県内の国道1号の渋滞損失時間において、ワースト4位。
- 長沼交差点の渋滞損失時間は、静岡県内の国道1号における平均と比較して約2.5倍。

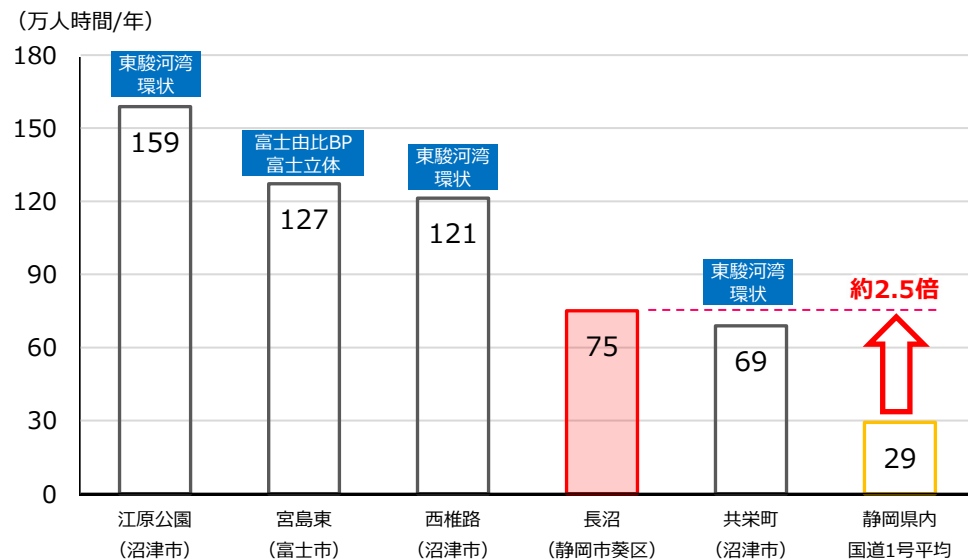
■ 静岡県内国道1号における渋滞損失時間ランキング

順位	自治体	代表交差点	12h 損失時間計 [万人時間/年]
1	沼津市	えばらこうえん 江原公園	159
2	富士市	みやじまびがし 宮島東	127
3	沼津市	にししいじ 西椎路	121
4	静岡市葵区	ながめま 長沼	75
5	沼津市	きょうえいちよう 共栄町	69

出典：主要渋滞箇所モニタリングデータ（R3.9～11月データ）



■ 静岡県内国道1号における渋滞損失時間と静岡県内国道1号平均比較

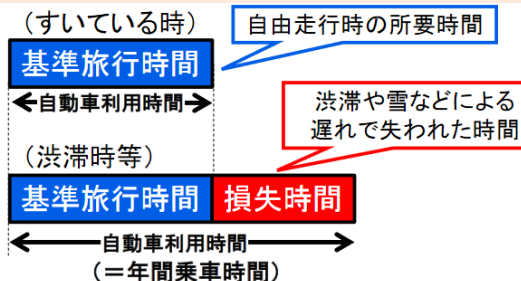


出典：主要渋滞箇所モニタリングデータ（R3.9～11月データ）

※ 事業名：各交差点における渋滞対策の計画

渋滞損失時間とは……

・「すいている時の所要時間（基準旅行時間）」と「渋滞時等の所要時間（基準旅行時間＋損失時間）」との旅行時間差を渋滞損失時間という。



出典：国土交通省HP

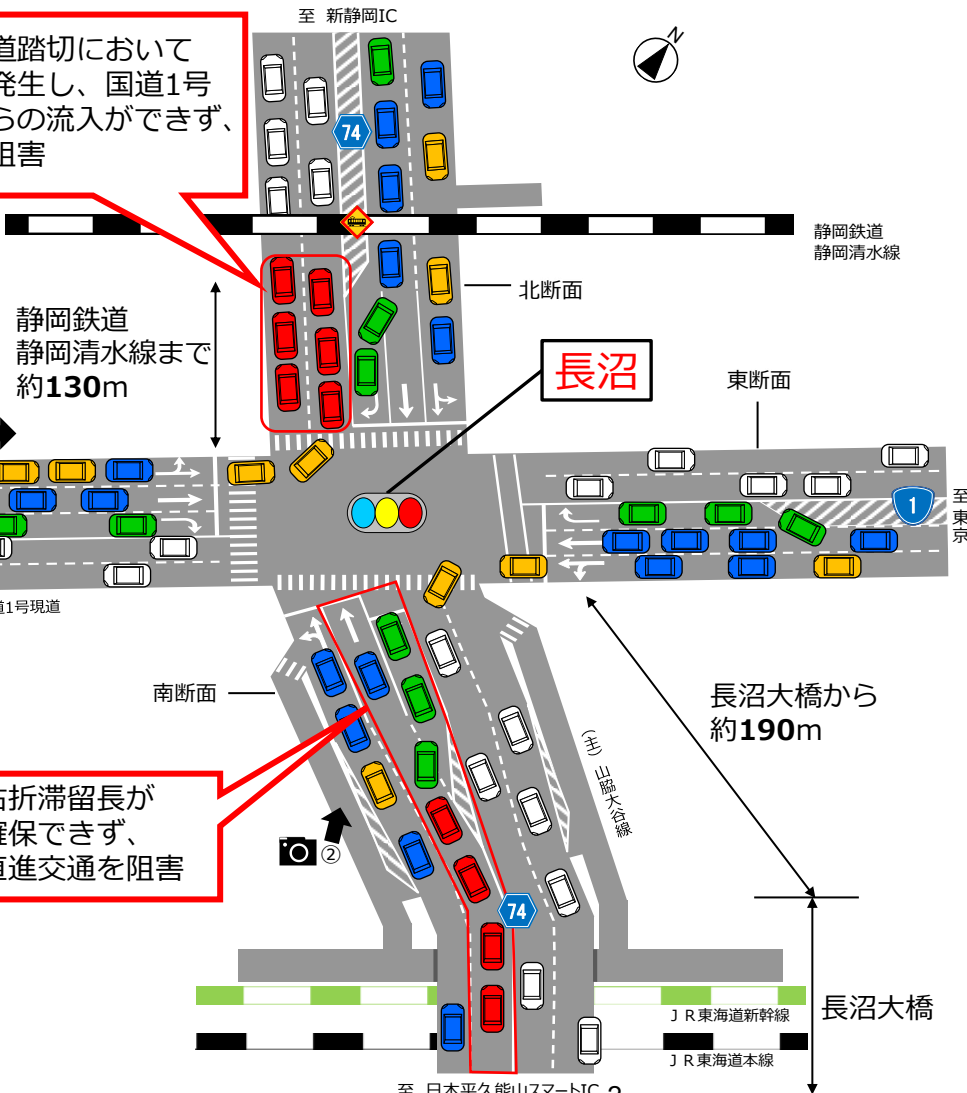
道路交通の現状と課題 ①渋滞 長沼交差点の交通状況

- 国道1号現道と（主）山脇大谷線が交差する長沼交差点は、近接する静岡鉄道踏切において滞留が発生し、国道1号現道からの流入ができず、直進交通を阻害。
- 南側流入部において、長沼大橋と近接するため右折滞留長が確保できず、直進交通を阻害。

《位置図》



静岡鉄道踏切において滞留が発生し、国道1号現道からの流入ができず、直進を阻害



①国道1号現道上りの渋滞



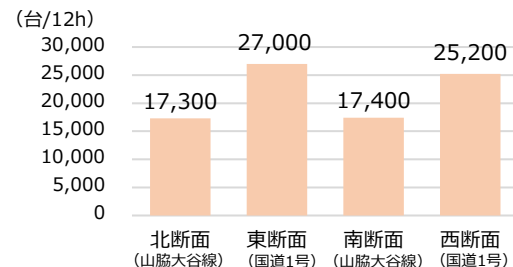
写真撮影日：R3.11.11(木) 16時台

②長沼交差点の渋滞



写真撮影日：R4.8.26(金) 18時台

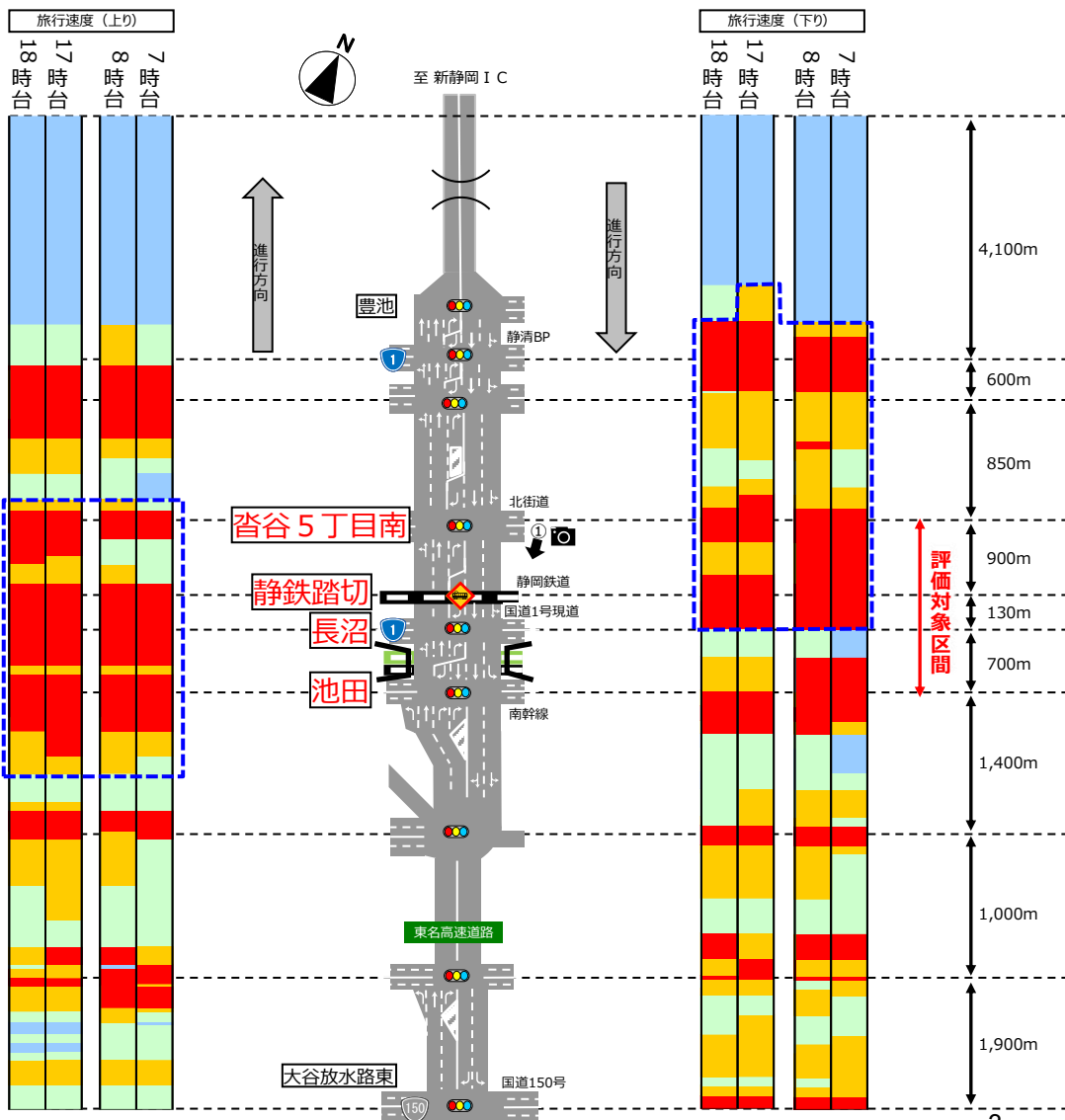
《長沼交差点の交通量》



※交通量データ：R3.11.11(木)12h交通量調査結果（7時～19時）

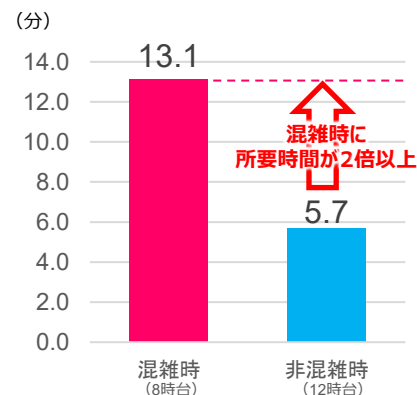
道路交通の現状と課題 ②物流 山脇大谷線の旅行速度

- (主) 山脇大谷線の北進方向では、静岡鉄道踏切を先頭に長沼交差点を超えて朝夕ピーク時速度低下が発生。
- (主) 山脇大谷線は信号交差点が連坦し信号交差点密度が高い。特に長沼交差点、沓谷5丁目南交差点、池田交差点などの評価対象区間で信号交差点密度が高く、沓谷5丁目南交差点～池田交差点間では、混雑時において所要時間が2倍以上に増加。

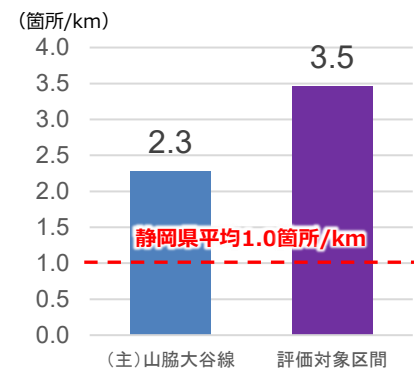


写真撮影日：R4.8.26(金)18時台

《沓谷5丁目南交差点 → 池田交差点
(約1.7km)の所要時間》



《(主)山脇大谷線 (大谷放水路東交差点
～豊池交差点) の信号交差点密度》



【交差点名】 赤字：主要渋滞箇所 踏切(主要渋滞箇所)

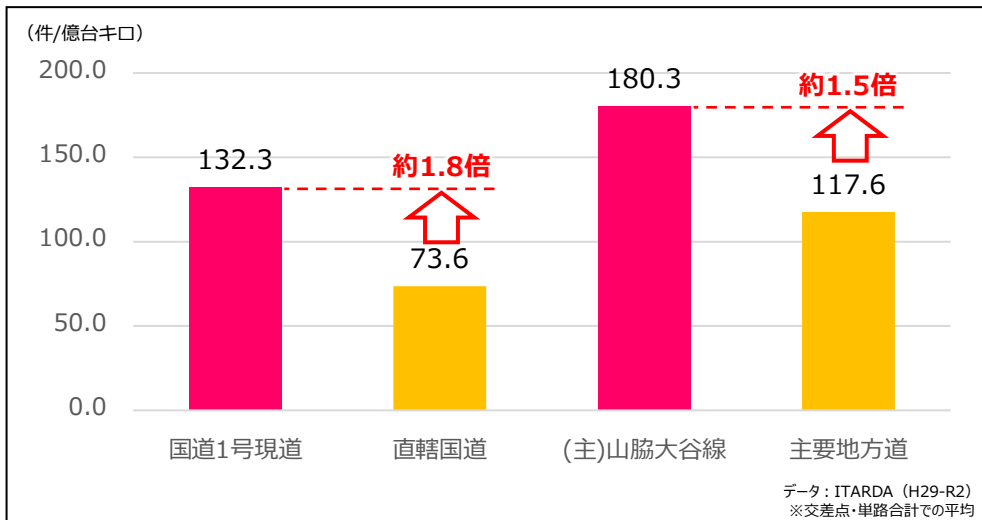
【凡例】 赤：～20km/h 黄：20～30km/h 緑：30～40km/h 青：40km/h～

※旅行速度：ETC2.0データ(R3.10月平日)

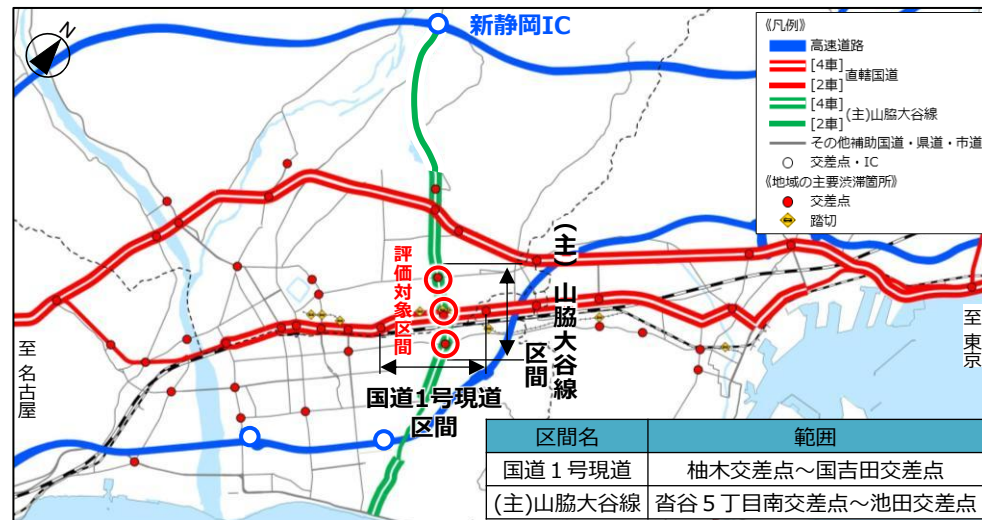
道路交通の現状と課題 ③交通安全 幹線道路

- 国道1号現道や（主）山脇大谷線は、市内平均と比べ死傷事故率が高い。
- （主）山脇大谷線の事故類型は、渋滞が原因となる追突の割合が多い。追突事故については、交差点部や駐・停車中車両への追突事故が多い。

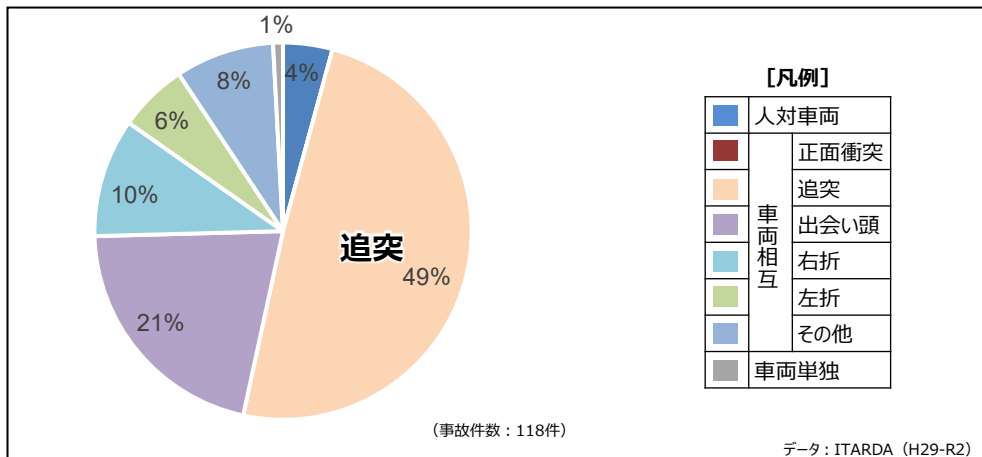
■ 静岡市内の道路種別死傷事故率



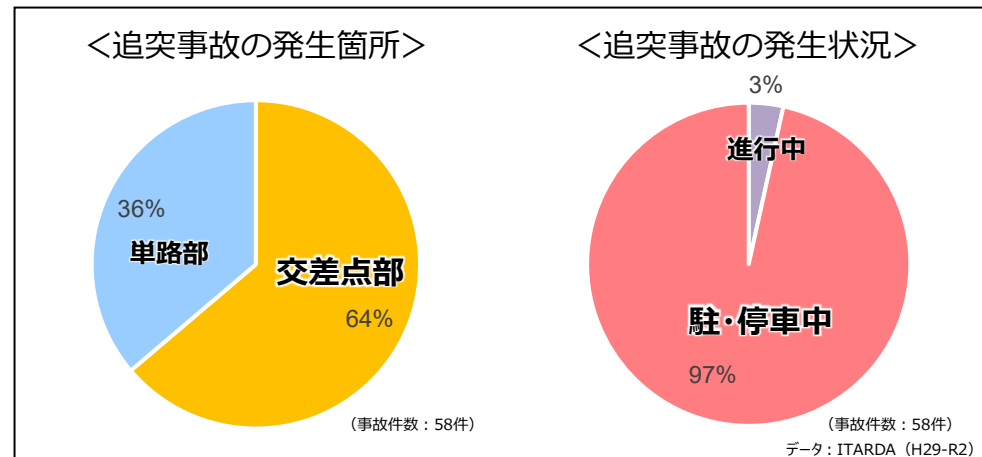
■ 国道1号・(主)山脇大谷線の死傷事故率・事故類型算出範囲



■ (主)山脇大谷線の事故類型



■ (主)山脇大谷線の追突事故



道路交通の現状と課題 ③交通安全 生活道路

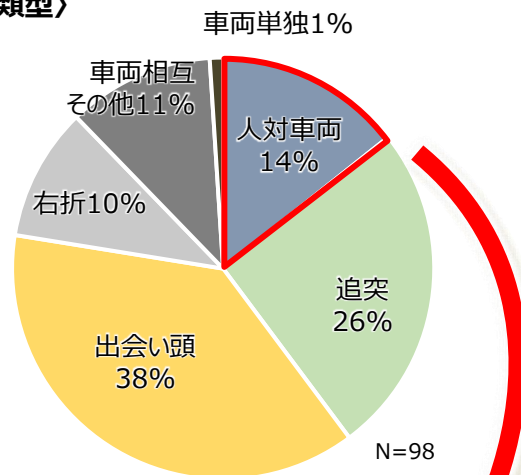
- 長沼交差点の渋滞を避けるため、生活道路に迂回交通が流入。
- そのため、生活道路においては、4年（H29～R2）で98件の事故が発生し、人対車両事故のうち半数が通勤や業務を通行目的とした通過交通。

■ 静岡駅～（主）山脇大谷線北側・（主）静岡清水線間の生活道路の迂回例

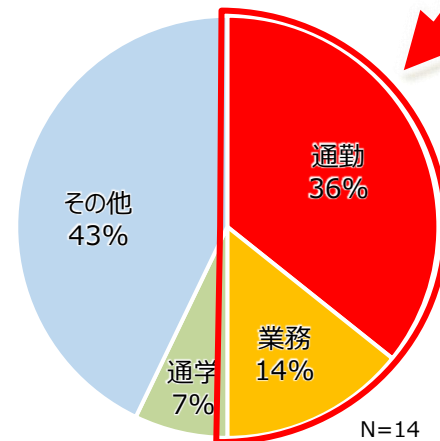


■ 生活道路の迂回路における事故発生状況

〈事故類型〉



〈通行目的（人対車両事故）〉



※先位当事者（過失の重い方）の目的



写真撮影日：R2.9.3(水)17時台



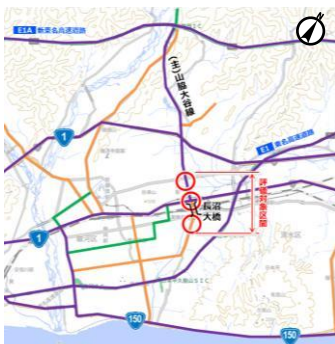
写真撮影日：R2.9.3(水)17時台

道路交通の現状と課題 ④防災

- （主）山脇大谷線は、長沼交差点を境に第1次緊急輸送路と第2次緊急輸送路に指定されている。
- （主）山脇大谷線の長沼大橋は、架設後60年以上が経過し、老朽化が進行しており、早期に措置が必要。
- 長沼大橋は、熊本地震で落橋したロッキング橋脚※となっており、大地震時に落橋に至る可能性がある構造。

※上下端の橋梁を支える部分が回転可能な構造の柱で構成され、単独では自立できない特殊な橋脚。

■ 静岡市周辺の緊急輸送路



- 第1次緊急輸送路
- 第2次緊急輸送路
- 第3次緊急輸送路

出典：静岡県の緊急輸送路（R3.10版）

長沼大橋

架設年次：昭和41年3月（60年経過）

橋梁点検結果（R4.3点検）：判定Ⅲ（早期措置段階）

状況：支承部の腐食対策、ロッキング橋脚の耐震補強が未実施



■ 長沼大橋の老朽化及びロッキング橋脚

